

辻莊一・三浦アンナ記念学術奨励金 歴代受賞者一覧

「辻莊一記念学術奨励金」

第 1回	1988年度	礮山 雅	キリスト教音楽研究に対する研究
第 2回	1989年度	樋口 隆一	キリスト教音楽研究に対する研究
第 3回	1990年度	松原 茂	教会音楽及びバッハに関する演奏研究
第 4回	1991年度	藤原 一弘	音律理論を中心とするキリスト教音楽研究
第 5回	1992年度	三宅 幸夫	バッハに関する研究業績

「辻莊一・三浦アンナ記念学術奨励金」

第 6回	1993年度	鐺木 道剛	山下りんの研究
第 7回	1994年度	該当者なし	
第 8回	1995年度	益田 朋幸	ビザンチン写本押絵研究に関する一連の業績
第 9回	1996年度	小林 義武	一連のバッハ研究（伝承の謎を追う業績）
第10回	1997年度	該当者なし	
第11回	1998年度	浅野 和生	トルコ・リキア地方カラジャエレン島のビザンチン教会遺跡発掘とその一連の研究
第12回	1999年度	該当者なし	
第13回	2000年度	該当者なし	
第14回	2001年度	手代木俊一	日本の讃美歌・聖歌の研究
第15回	2002年度	木俣 元一	シャルトル大聖堂研究はじめキリスト教美術研究
第16回	2003年度	鈴木 雅明	バッハ作品の演奏と研究
第17回	2004年度	浅野ひとみ	「スペイン・ロマネスク彫刻研究」
第18回	2005年度	長岡 英	「ジョヴァンニ・アニムッチャのミサ研究」
第19回	2006年度	該当者なし	
第20回	2007年度	森 裕子	Modal Assignments of Office Antiphons in Ten Sources of the Region of Lake Constance from the Tenth to the Early Fifteenth Centuries
第21回	2008年度	金沢 百枝	「ロマネスクの宇宙 ジローナの〈天地創造の刺繍布〉を読む」
第22回	2009年度	笠原 潔	洋楽流入史におけるキリスト教音楽の研究
第23回	2010年度	青山 愛香	『デューラーの遍歴時代—初期素描の研究』
第24回	2011年度	大角 欣矢	16～17世紀のプロテスタント音楽の研究
第25回	2012年度	久米 順子	『11世紀イベリア半島の装飾写本—“モサラベ美術”からロマネスク美術へ—』
第26回	2013年度	福田 弥	フランス・リストの宗教音楽研究
第27回	2014年度	奈良澤由美	フランス南東部のキリスト教祭壇の研究：古代末期からロマネスク時代まで
第28回	2015年度	西間木 真	11～12世紀フランスにおける教会音楽の理論と実践に関する研究
第29回	2016年度	該当者なし	
第30回	2017年度	該当者なし	
第31回	2018年度	岩谷 秋美	『ウィーンのシュテファン大聖堂—ゴシック期におけるハプスブルク家の造営理念』
第32回	2019年度	木村 佐千子	J. S. バッハの教会声楽作品研究
第33回	2020年度	杉山 美耶子	悔悛者への約束—初期ネーデルラント絵画におけるイメージと贖宥—
第34回	2021年度	坂本 日菜	現代キリスト教音楽における「レクイエム」をはじめとする作曲活動
第35回	2022年度	古沢 ゆりあ	『民族衣装を着た聖母—近現代フィリピンの美術、信仰、アイデンティティ』
第36回	2023年度	清水 康宏	『音楽のなかの典礼—ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》はどのように聴かれたか』